

大切な宗像のために。

いつも全力！

宗像市議会 建設産業常任委員会 副委員長

あべよしひで  
**安部 芳英**

〒811-4175 宗像市田久6丁目1番  
Tel / Fax 0940-32-1386  
メール abeyoshihide@gmail.com  
ホームページ http://abe-yoshihide.jp/



平成29年度9月  
議会一般質問

平成29年度12月  
議会一般質問

？あの提案はどうなった？

- ①コンビニAED設置実現
- ②「みあれ祭」宗像市の無形民俗文化財に指定

大阪マラソン完走しました！

一般質問とは？

議員が市の行政事務全般について市の見解を問う  
ものです。



## 平成29年度9月定例会 一般質問 安部よしひで提案内容

### ① まちづくりポイント制度の創設

市民アンケートの推移を見ると…

地域開催行事に関わっている、  
参加している市民の割合は4割未満

慢性的な課題

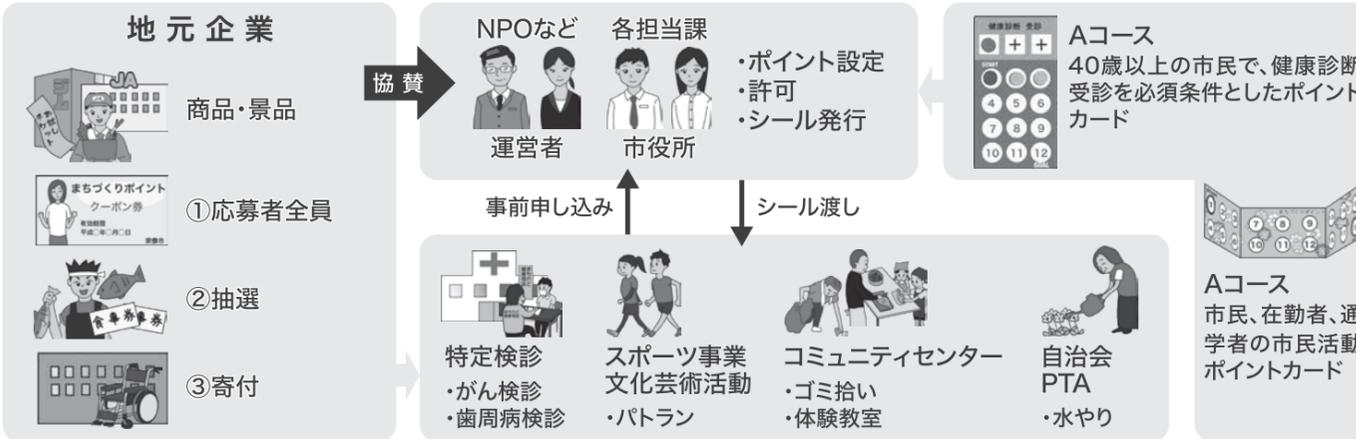
まちづくりの担い手が不足しています！

その他にも…

- ・医療費抑制
- ・健康づくり
- ・地域活性化

その打開策の一つとして、平成25年6月議会でコミュニティ活動やボランティア活動をする市民について有償ボランティアやインセンティブの提案を行ったところ、当時市長はモデル地区での試行的導入の可能性も含め、全庁的な協議の必要性について言及していました。

そこで改めて何うが、現在進行している健康マイレージ(運動)とヘルスケアポイント(健診受診率向上、成人病予防、医療費抑制、健康づくり)の連動だけにとどまらず、ボランティアや文化芸術、コミュニティ、自治会、PTA、地域活性化、投票率向上等、まちづくり全体の推進につながる総合的なポイント付与制度「元気なまちづくりポイント制度」を創設してはどうか？



総務省が進めているマイナンバーを活用したポイント制度の導入を庁内ワーキングを立ち上げて協議を開始しており、実際に健康づくり系のポイントについて国の実証実験について手を挙げている。

報告 市長より紙媒体の活用も含めて検討してくださいと御答弁いただきました。

### ② 被災地支援と人的備えを 手応えを感じることができました。



市民団体などがバスを出して被災地へ行く場合、市が窓口となることや、ボランティアセンターのネットワークの中に災害ボランティア枠を新たに設置するというのはどうか？

協議検討していきたい。



## 平成29年度12月定例会 一般質問 安部よしひで提案内容

### ① 2030年、そのとき宗像は!!!



2030年に本市の総人口、高齢者人口と生産年齢人口はどうなって、どのような問題が起こるのか？



2030年には総人口約9万人、高齢者人口約3万人、生産年齢人口約5万人となり、労働人口の減少による市税収入の減少、社会保障制度の悪化などによる日常困難者の増加、農村荒廃の深刻化や介護、医療の問題など、様々な事象が生じることを危惧している。



解説 たった13年後です、現在と比較して総人口は7000人減少し、高齢者人口は6000人増加し、生産年齢は6000人減少するという大きな問題に、危機感を持って対策を講じる必要性があることを議会で共有しました。

### ② 定住化推進と企業誘致策 宗像の未来のために何をすべきか！



生活インフラが滞っているような地域については優先的にインフラ整備を進める必要性があるのでは？

定住化を推進する観点からも優先的にインフラ整備を進め、街なか移住を推進する必要がある。



現在の定住施策は新住民向けに直接的な補助を行う家賃補助制度だが、市内不動産事業者、金融機関に誘致インセンティブを付与するほうが、民間事業者が独自に多角的な誘致を行えるので効果が大いのではないかと？

現在の家賃補助制度等、直接的補助制度の見直しを含めて今後検討を行っていく。



解説 箱を作る事業に対するインセンティブになるようなことも考えて行く必要はあると執行部も認めてくれました。また、インセンティブに関する議論が国政でも出ていますが、その如何に関わらず先手で検討することを要望しました。

城山中学校の校舎移転と建て替え事業は、俯瞰的に見れば今の校舎のある敷地については教育大前駅周辺の再開発、駅周辺への将来的な人口集約化、若年層の定住化推進、企業誘致、インフラ整備など2030年の課題解決にもつながる多くの可能性を持ち合わせている。国家100年の計の学び舎の移転建て替えが本市の重要課題を解決することにつながる事業となりえる。今まで以上に優先度を高め、城山中の早期建て替えの検討と現地の資産価値評価、民間企業に対する定住化策のサウンディングを並行して行う必要があるのでは？



城山中の建て替えは地元も入れて協議しており、30億円近い費用を一般財源で行うのは無理な話なので、前段として建て替えの必要性、耐震の問題などを県や国に対して説明していくことが大事。その上で、中心拠点としての位置づけと活性化につなげる議論が必要である。



解説 城山中の建て替えについては今後もことあるごとに訴えて行きます！

第2次宗像国土利用計画にもある国道3号沿線の企業誘致目標値と現状は？

現状は目標の実現に至っていない。



現状、企業誘致は片手間でしかできていない、責任部署と体制強化、予算を増やしていただきたい。

本当に企業誘致を進めて行くのであれば体制の整備は今後進めるべき。



解説 企業誘致に関して議員になって以来ずっと体制強化と予算の増額を訴えており、今後も訴えます。



竹の再利用、海岸漂着ゴミのリサイクル、ビーチクリーン、農業のICT化、鳥害獣の狩猟など、本市の課題かつ国内の課題解決につながる分野の起業や研究を行う機関に対してインセンティブを設け誘致を進める必要があるのではないか？

現在ある企業立地促進補助金の支援メニューを拡充させ対応しているところ、今後は個人事業主等のスタートアップ支援の在り方についても研究していく。 **A**



解説

ファビットという起業家支援の事業の紹介があり、大学やキャリアを持った高齢者、女性が多くいるので宗像市への誘致を進めていると説明がありましたので、離島の島民や高校生(宗像高校、香椎工業高校のロボット部)など若い人たちも巻き込んだ会議体を作って欲しいと要望しました。



大島の焼却場跡地の有効活用を図るための計画はあるのか。 **A** 現在解体も含め検討は行っているが古民具や保管庫として活用しているので当面は現状での対応を行いたい。



世界遺産の眺望として建物が目立っているので配色を変えたり島民と有効活用策について話し合いたい。 **A** 十分協議をしていきたい。



経営企画部に対して各部署任せではなく取りまとめ、有効活用の視点を持って進めてほしい。

将来的にどう再生していくかについての統括的な役割は経営企画部で行っていく必要がある。 **A**

### ③ もうける交流と産業振興策

平成 25 年 12 月議会での提案

ふるさと寄附の返礼品に特産品を

今期 **15** 億円超の寄付額！

- ・市の収入増加
- ・雇用創出
- ・産業振興に大きく貢献

平成 26 年 9 月議会での提言

グローバル人材育成に「もうける交流」視点が必要

ふるさと寄附返礼品

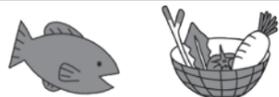
- ・ブルガリア産ワイン、ハチミツ
- ・韓国産海苔

好評



「もうける交流」の根付きを実感！

インターネット通信販売の準備 …… 早急な展開が必要！



子どもたちにグローバル人材に成長してもらい海外経済を取り込み宗像をけん引してもらうために、まずは我々大人が世界とつながり経済的な基盤を構築しなければならない。

**「もうける交流」をさらに進める必要がある！**



ふるさと寄附の返礼品に、本市と交流のある自治体(長野県松本市、東京都小金井市)や交流のある国(カナダ、ニュージーランド)の産品を積極的に取り入れるべきでは？

今後全体的な返礼品の充実を検討していく中で、あわせて検討していく。 **A**



市内には貿易事業者がいるので知恵を借りることを検討できないか。

そういった事業者があれば話をさせていただくことはやぶさかではない。 **A**



ふるさと寄附係り繁忙期には活況となるが、部屋も手狭となっている。増員や事務室を広くするなどの対策が必要では？ **A** 適切に対応する、必要があれば考えたい。



本市の国際交流を経済交流に深化させ海外戦略を進めていくために一般財団法人自治体国際化協会などの補助金を活用してはどうか。

補助メニューを活用してインバウンド対応や国際交流の推進につなげることを検討したい。 **A**



解説 本市は香港やシンガポールなどへの海外販路の開拓も見据えているので、アンテナをはって有利な補助金を活用するように要望しました。



我が国と中東諸国との距離を近づけ、2030年問題の一助となるために、本市と所縁のある中東の親日国、イラン共和国・アバダンと人材、エネルギー、商工業、農業等、友好な関係を築くためにまずは接触することができないか。

なかなかこちらから出向くことは難しいが、近年増加しているイスラム圏からの観光客に対するハラル認証の取得支援などを検討する必要があると認識している。 **A**



現在の本市の計画の中には多文化共生という文言は国際交流計画の中に出てくるが、宗像に住んでもらうという具体的な施策がないので元祖国際都市ということであれば、外国人が経済活動できるような街、共生できる街にしていけないといけない。外に行く交流だけではなく、外国人に宗像に住んでもらう政策につなげなければ宗像の将来はないと思うが市長の考えは？

具体的な事業としてやっていくのはこれからの考え方だと思う。そういう人たちを誘致できるような施設を作り、外国の方も住みやすいような環境を整備していかなければならない。それが、定住化、グローバル化、国際化のまちにつながっていくと考える。また、交流などを通じて製品の販売なども含めてこの街は計画を立てていくべきだと考える。 **市長**



報告

今回の一般質問の前に谷井市長が勇退される意向を表明されました。本当にお疲れ様でしたという気持ちでいっぱいです。2030年そのとき私は60歳になります、責任世代としての自覚を忘れずに今後も勉強していきたいと思いました。

## ? あの提案はどうなった?

### ① コンビニへの AED の設置が実現しました!

高齢化、人口増加、観光客増加などによる救急出動の駆けつけ時間の遅延予測の対策の一つとして、平成 25 年 6 月議会で提案させていただいており、ついに本年度実現しました。

救急車を待っている時間にコンビニの AED を使用して今まで救えなかった命が救われたり、後遺症が軽く済んだりする事につながれば幸いです。

1 人でも多くの方に救急救命の講習を受講していただき、万一の時に人命を救うことができるように備えをしていただくと、このコンビニ AED の仕組みがより有効となりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、今回の導入についても執行部、消防本部、コンビニエンスストアの関係者の皆様のご尽力によって実現したものです、心から感謝しております。



実現に感謝!



### ② 「みあれ祭」が宗像市の無形民俗文化財に指定されました!

宗像の秋の風物詩として毎年 10 月 1 日に行われる「宗像大社みあれ祭」が 8 月 22 日、市指定無形民俗文化財に指定されました。

30 年、50 年、100 年先まで次世代の人々に継続してみあれ祭を守り伝えていく、その活動の一助になるのではないかと期待しています。



私自身がみあれ祭を体験し、またみあれ祭が世界遺産登録の資料中に記載があることを知り、後世に伝えなければならないと強く感じました。国内における、みあれ祭の有する文化的価値について市民、県民、国民の皆様にも認めていただく根拠の一つになるのが無形民俗文化財指定ではないかと考えました。

### 大阪マラソン完走しました!

昨年 11 月に大阪マラソンに「パトラン」チャリティランナーとして出場しました。実に 6 年ぶりのフルマラソンでした、記録は 6 年前よりも 5 分短縮の 6 時間 12 分! (自慢できるタイムではありませんね…)

私も議会で、宗像市で世界遺産を感じることができるマラソンやマラニック大会の開催を提案していましたので今回の完走は大きな弾みとなりました。

今年も有言実行! 何事にも全力で挑戦します! どうぞよろしくお願いたします!

